

袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター 建築基本設計プロポーザル審査結果報告書

袋井市森町広域行政組合は、袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センターの基本設計業務受託者選定にあたり、公募型プロポーザル方式により技術提案書の提出を求め、袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター建築基本設計プロポーザル選定委員会を設置し審査を行った。その結果、下記のとおり最優秀者(設計候補者)、次点者を選定したので公表する。

1 審査結果

最優秀者(設計候補者) 株式会社梓設計 名古屋事務所
次点者 株式会社アール・アイ・エー 名古屋支社

2 審査経緯

(1) 選定委員会の審査経過

ア 第1回選定委員会(平成27年8月5日)

公募型プロポーザルの応募要項、審査評価基準等の審議を行った。

イ 第2回選定委員会(平成27年9月18日)

5者からのプロポーザル提出があり、第1次審査としてプロポーザル全体を通して意見交換を行った後、審査評価基準を基に各委員が個別審査を実施した。

続いて、個別審査による採点を暫定集計した結果を踏まえて各委員がプロポーザルに対する意見を述べ、合計点数の高い3者を第2次審査のヒアリング要請者として選定した。

ウ 第3回選定委員会(平成27年10月6日)

第2次審査として、ヒアリング参加要請3者から個別ヒアリングを実施した。ヒアリングは、提出者からの説明20分、質疑応答20分の計40分間で実施した。

ヒアリング後、提出されたプロポーザルの内容及びヒアリングの総合評価による審議を行い、各委員が最終的な評価を行った。その結果、点数の最も高い者を最優秀者、2番目に高い者を次点者と決定した。

なお、第1次審査、第2次審査ともに参加者名は全て匿名にて審査を行った。

(2) 選定委員会委員名簿

委員長	鈴木 茂	袋井市森町広域行政組合副管理者(袋井市副市長)
委員	内田 正春	(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター副理事長
委員	山本 勉	静岡県袋井土木事務所建築住宅課長
委員	出口 憲七	袋井市防災監
委員	北沢 隆夫	袋井市都市建設部長
委員	杉山 真人	森町参事兼総務課長
委員	山本 季男	袋井市森町広域行政組合袋井消防本部消防長

3 審査講評

袋井消防庁舎及び（仮称）袋井市防災センターは、袋井市、森町の消防防災拠点施設として、コスト低減を図りながらも質の高い設計が求められているため、設計委託料のみによって、設計者を選定するのではなく、設計者の創造性、技術力、経験等を適正に審査の上、最も適した設計者を選定する必要があるため、本プロポーザルを実施した。

「基本計画を実現させるための提案」「建設費及びランニングコスト低減に対する提案」及び「大規模災害を踏まえた今後の消防防災拠点機能に対する提案」の3課題を技術提案課題として設定し、各者からの提案を求めたところ5者から参加表明書の提出があり、参加表明書の提出があった5者全てからプロポーザルの提出があった。

各応募者から提出のあった3つの技術提案課題、業務実績、技術者の経験等の項目について、総合的に審査した結果、合計点数が最も高かった株式会社梓設計名古屋事務所を最優秀者、株式会社アール・アイ・エー名古屋支社を次点者とした。

袋井消防庁舎整備基本計画及び（仮称）袋井市防災センター整備基本計画の内容を踏まえた提案を要求したことから、共通する部分も多い提案内容となっていたが、選定委員会として、消防防災拠点としての機能性と経済性について特に配慮されていると共に、最も適切な創造力、技術力及び経験を持つと見込まれる設計者を選定することとした。

最優秀者は、各評価項目全てにおいて、高い水準の提案があり、特に本業務への取組意欲、技術提案課題2については、他者よりも優れているとの評価であった。

また、次点者は最優秀者には及ばなかったものの、高い水準の提案であり、特に技術提案課題1については、数多くの具体的な提案が明確に述べられ、優れているとの評価があった。

最後に、本プロポーザルに関し各提案者の皆様には限られた時間の中、多大なる労力をお掛けし、貴重な提案をいただき心からお礼を申し上げます。

平成 27 年 10 月 9 日

袋井消防庁舎・（仮称）袋井市防災センター
建築基本設計プロポーザル選定委員会
委員長 鈴木 茂